

日本胆道学会 創立 50 周年記念シンポジウム

外科の立場からみた日本胆道学会の歩み
特に創生期の思い出

久留米大学 名誉教授
聖マリア学院大学 教授

中山 和道

第1回 胆のう造影研究会

千葉 昭和40年(1965年)



主 題

胆管穿刺造影法

当番世話人 千葉大学 第1外科講師

窪 田 博 吉

(千葉大学 宮崎 勝教授 寄贈)

第2回 胆のう造影研究会

東京 昭和41年(1966年)



主 題

直視下胆のう穿刺法

外科的胆のう胆管造影法

経口、経静脈胆のう胆管造影法

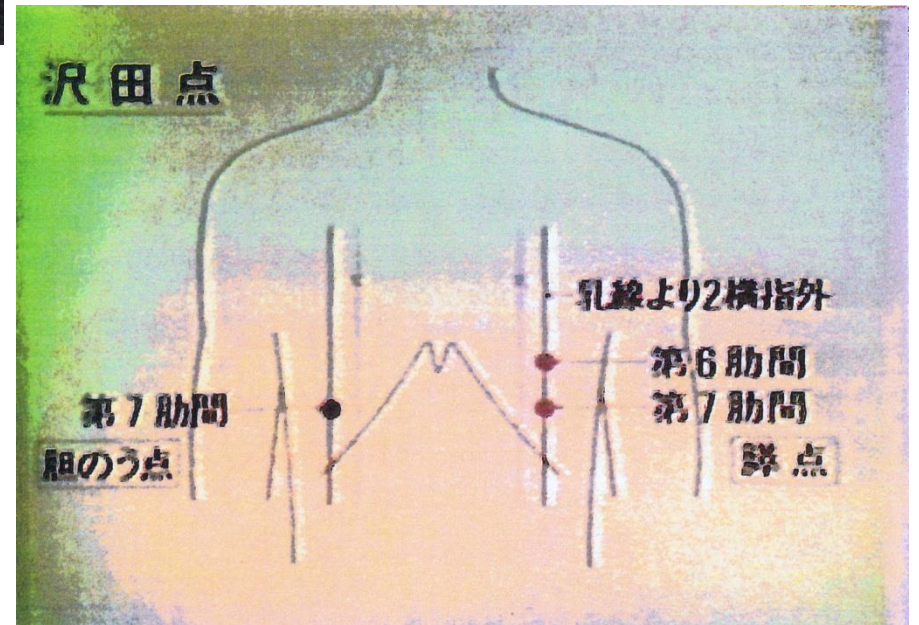
経皮的造影法

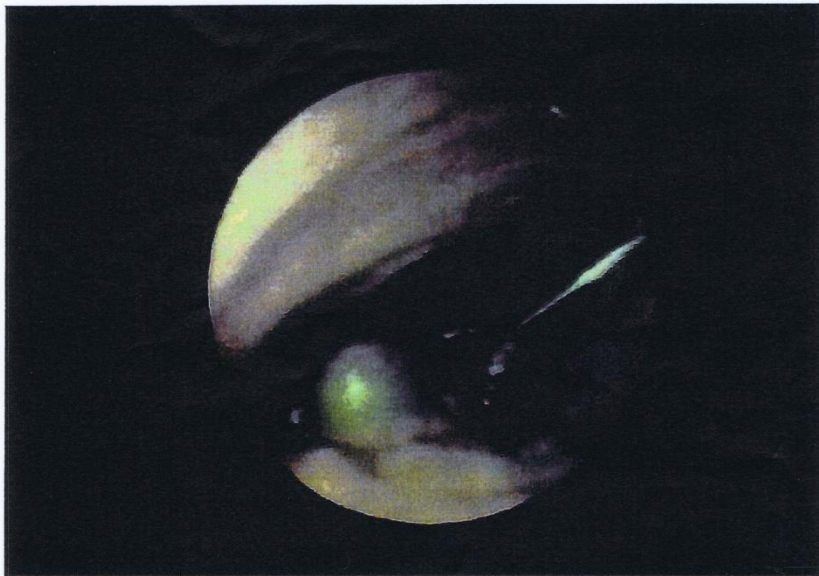
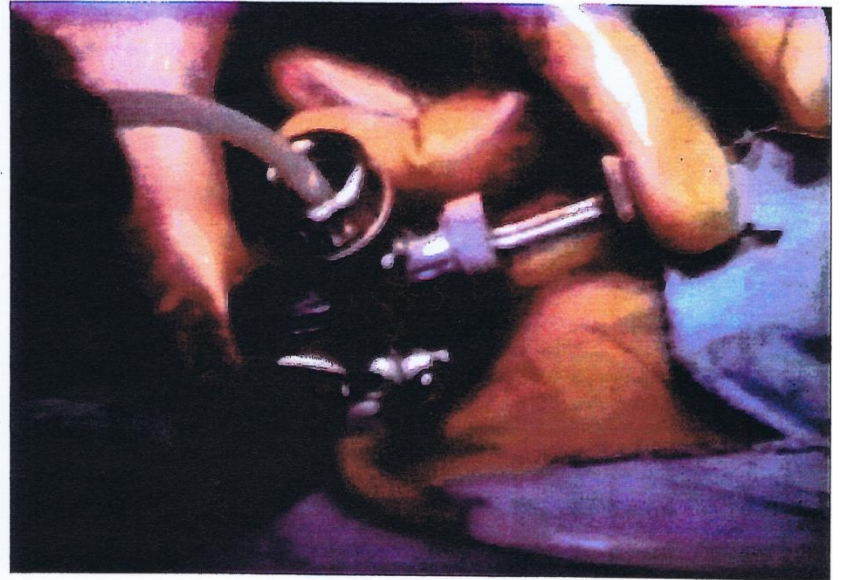
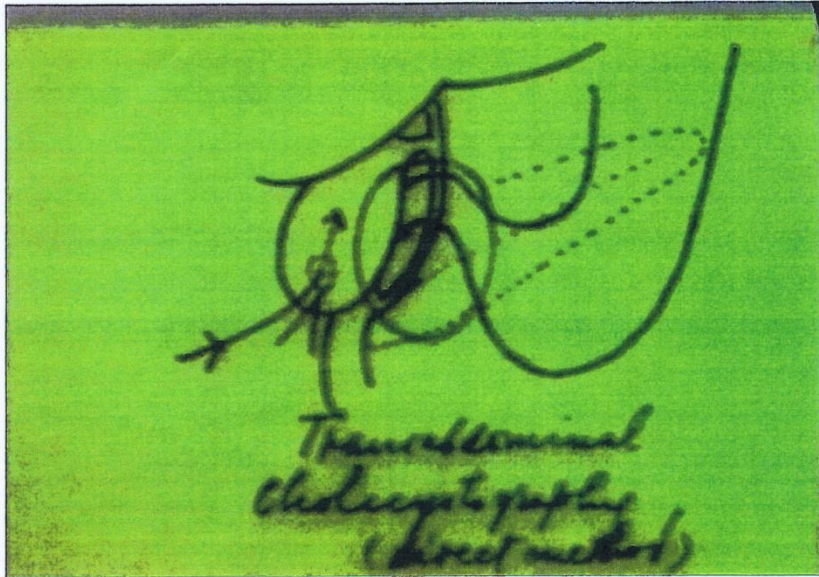
術中造影法

当番世話人 丹羽病院 消化器科

高山 欽哉

(丹羽病院 南 康平院長 寄贈)





第4回 胆道造影研究会

仙台 昭和43年(1968年)



主 題

胆道造影陰性例の検討と対策
(佐藤 壽雄)

胆嚢別出術後遺症について
(三浦 清美)

当番世話人

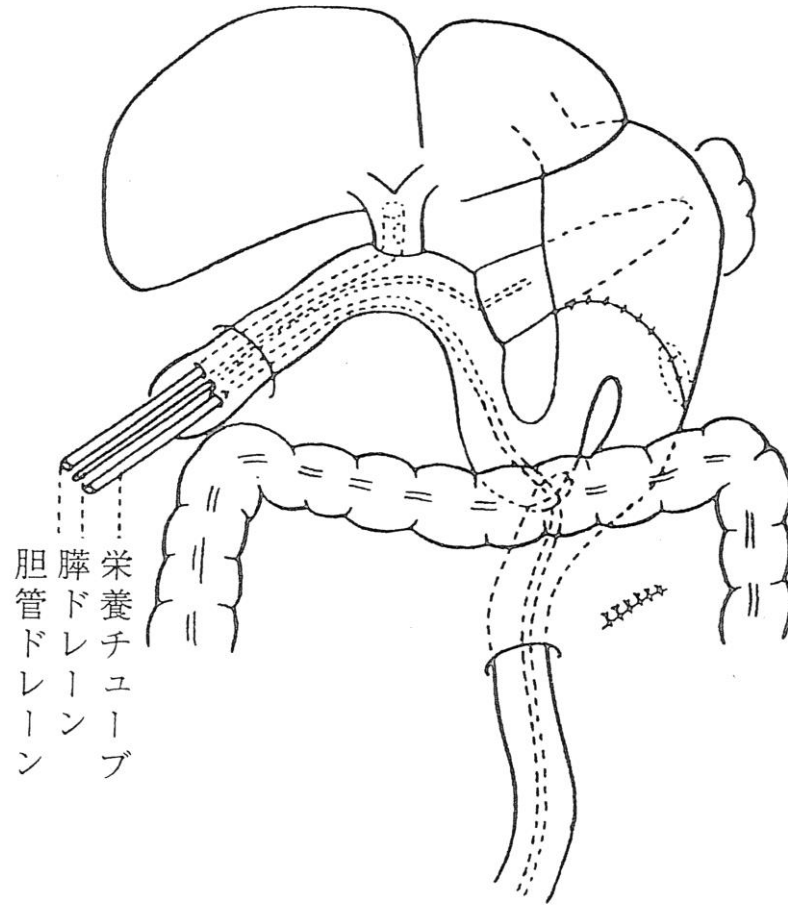
東北大学 第1外科

佐藤 壽雄
(左写真)

東北厚生年金病院 内科

三浦 清美

空腸瘻造設 Whipple 変法



久大Ⅱ外科法(中山)昭和43年



第5回 胆道疾患研究会

福岡 昭和44年(1969年)



主 題

1. 排泄性(間接的)胆のう、胆道造影法の検討
2. 排泄性(間接的)造影法、によって発見された胆のう及び胆管の腫瘍症例について
3. 興味及び疑問のある胆道疾患について

当番世話人 九州大学 第1外科

永 光 慎 吾

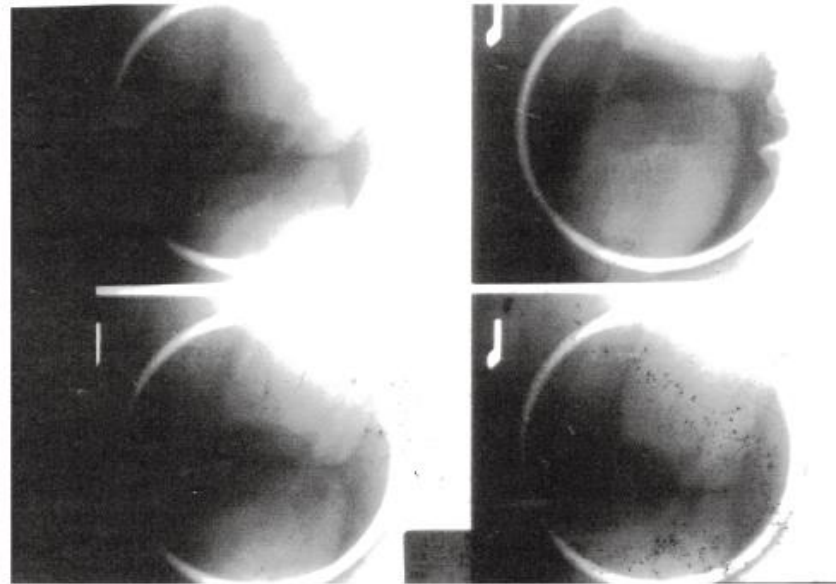
53 歲 女性

主訴 右悸助部鈍痛

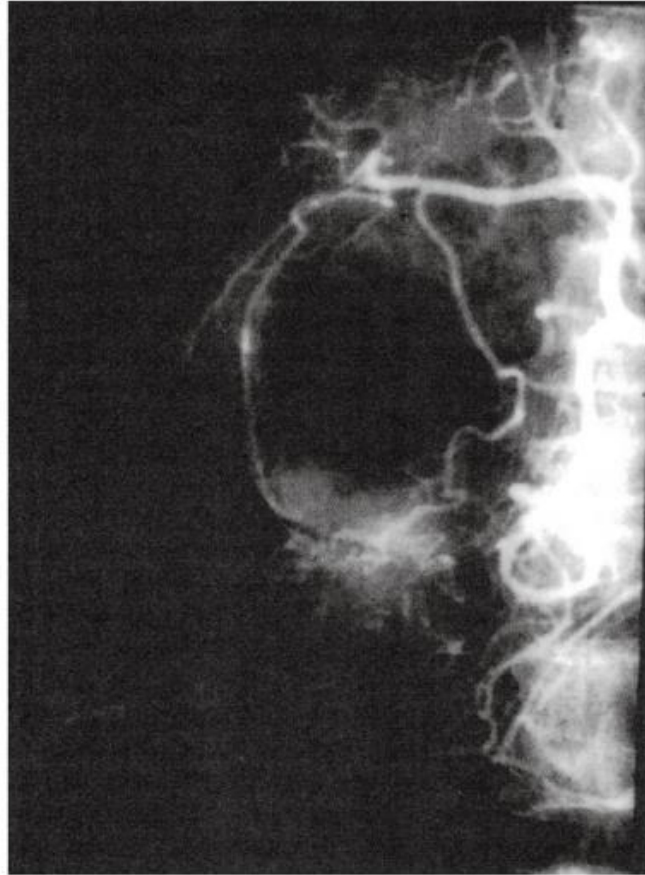
点滴静注胆道造影法



压迫法



血管造影（腹腔動脈）



第6回 胆道疾患研究会

東京 昭和45年(1970年)



テーマ

- (I) 胆道造影法の検討
—基準化のために—
- (II) 胆道の手術成績向上を目指して
- (III) 症例検討

(I) では排泄性造影の診断能を中心に検討、特殊診断法として経皮経肝法について外科から小幡五郎(千葉大)、内科 有山襄(順天堂大)が口演、P T Cは内科的に安全に応用できるという認識が確認された。

当番世話人

- 亀田 治男(東大内科)(左写真)
- 窪田 博吉(千葉大外科)
- 草地 伸勲(日医大放射線科)

第7回 胆道疾患研究会

日 時 昭和46年7月24日 午前9時～午後8時
場 所 日本生命中の島ビル（日生中の島研修場）
大阪市北区常安町29 TEL 06—443—3131

世話人 大阪成人病センター 内科 清 永 伍 市

第7回 胆道疾患研究会プログラム

テーマⅠ 間接造影法の基準方式 (9:00~12:00)

司会 千葉大第一外科 窪田博吉
大阪成人病センター内科 清永伍市

- スポット撮影 日本医大 第三内科 瓦崎 正昭
- 透視または透視による圧迫 新田胃腸科(福井市) 新田 輝夫
- 0.5 cm毎の断層撮影 日本医大 第三内科 勝田 紀男
大阪成人病センター 稲本 一夫
- 乳頭収縮剤の併用
- 三日法, 四日法 中通病院(秋田市) 内科 今井 秀夫
- 経口法に用いる薬剤
- 静注法に用いる薬剤
- 乳頭収縮剤として用いる薬剤 東京逓信病院 放射線科 松本 泰二
- 胆嚢収縮法 岡山大学 小坂内科 森田 稔
大阪大学 第二内科 高江洲春八
- DICに用いる薬剤の量, 希釈液の種類, 量, 点滴時間 北大 第三内科 朴沢 英憲
順大消化器内科 南部 勝司
九大 第一外科 久次 武晴
久留米大 第二外科 中山 和道
- 撮影時の体位 日本医大 放射線科 草地 伸勲
- 副作用 (どの方法についても) 国立金沢病院 研究検査科 寺畑 喜朔
- その他..... 予定発言者以外に御意見がございましたら御自由に御発言下さい。(但し御発言は2分以内でおねがいします。)

中山和道教授の定年ご退官をお祝いして

順天堂大学消化器内科 教授 有 山 襄

胆嚢造影研究会

私が先生と初めてお目にかかったのは、1966年か1967年頃の現在の日本胆道学会の前身である胆嚢造影研究会でした。当時は直接胆道造影による明瞭な画像は少なく、排泄性胆道造影による画像で討論が行われていました。胆道が写っているのかいないのか、よくわからないX線像で延々と討議が行われ、私は退屈してなんとつまらない研究会だろうと密かに思っていました。突然、『久留米大学外科の中山ですが、下らん討議をいくらしたっちゃらちが明かんけん、こんな研究会は止めたほうがよか』と青天の霹靂のような威勢のよい発言がありました。私はまったくその通りと心の中で快哉を叫びました。場内は騒然となり、司会をしていた偉い先生は真っ青になりました。発言者はどんな人だろうと思ってみると、精悍な表情の偉丈夫がマイクの前に仁王立ちで司会者を睨んでいました。これが中山先生の名前を初めて知った時でした。中山先生の発言を聞いて『俺よりもものすごいことをいう人がいる』と尊敬の念で一杯になり、一度でファンになりました。日本的な『マアマア主義』と相反しますが、直裁な意見を学会や研究会で述べることは学問の発展に必要なことだと今でも思っています。

第10回胆道疾患研究会



並木 正義

日 時：昭和49年8月24日（土）9：00～19：00

会 場：経団連会館ホール（14階）

東京都千代田区大手町1の9の4

TEL 03 (279) 1411

世話人：北海道大学医学部第三内科 並 木 正 義

シンポジウム

閉塞性黄疸をめぐる諸問題

A. 診断の問題をめぐる

9:00~12:30

司会 古田 精市
和賀井 和栄

1. 閉塞性黄疸に対するわれわれの診断方針
大阪労災病院 外科 伊藤 篤
2. 肝機能の時間的推移のパターンからみた閉塞性黄疸の鑑別診断
東京大学医学部 第一外科 石川 功
3. 胆管閉塞性疾患における各種胆道造影法 (D.I.C, E.C.G, P.T.C) 診断能について
名古屋大学医学部 第二内科 内藤 靖夫
4. 閉塞性黄疸の診断: P.T.Cと血管造影の併用による質的診断
順天堂大学 消化器内科 有山 襄
5. 超音波感度断層法による閉塞性黄疸の診断
札幌医科大学 癌研内科 福田 守道
6. 閉塞性黄疸に於ける腹腔鏡検査
大阪府立成人病センター 清永 伍市

指 定 発 言

1. 閉塞性リポ蛋白 (Lp-X) の臨床的意義
岐阜大学医学部 第一内科 深沢 俊男
2. 閉塞性黄疸の診断について
信州大学医学部 第二内科 岡田 千曲
3. 閉塞性黄疸において診断を誤らせる諸因子の臨床的検討
九州大学医学部 第一外科 古沢 悌二
4. 悪性閉塞性黄疸の診断とその根治性
久留米大学医学部 第二外科 松永 章
5. 肝内胆汁うっ滞症の診断について
三井記念病院 菅谷 仁
6. 閉塞性黄疸の胆汁細胞診
長崎大学医学部 第二外科 宮本 俊光
7. 閉塞性黄疸のレ線診断
大阪大学医学部 放射線科 黒田 知純
8. DIC-C法 (Coliopan 附加 DIC) について
三楽病院 放射線科 松本 泰二
9. 閉塞性黄疸の診断
千葉大学医学部 第一外科 大原 啓介
10. 閉塞性黄疸における閉塞部位診断の問題点: 特に肝門部閉塞に関して
東京大学医学部 第二外科 二川 俊二
11. 内視鏡的膵・胆道造影法による閉塞性黄疸の診断
愛知県がんセンター 第一内科 久野 信義

12. 十二指腸内視鏡による閉塞性黄疸の診断（EPCGを中心として）
大阪府立成人病センター 遠藤 義彦
13. 閉塞性黄疸をめぐる諸問題
大阪市立大学医学部 第三内科 小林 絢三
14. 閉塞性黄疸の鑑別診断における内視鏡的胆道造影の位置づけ
岡山大学医学部 第二内科 原田 英雄
15. 逆行性胆道造影による閉塞性黄疸の診断能
県立がんセンター新潟病院 内科 丹羽 正之
16. 閉塞性黄疸のX線診断法、とくに PTC とEPCG の適応と診断能の比較検討
千葉大学医学部 第一内科 税所 宏光
17. 閉塞性黄疸の超音波断層像
大阪府立成人病センター 中川 史子
- B. 手術適応の判断とその時期の問題をめぐって**
- 13:15~15:20 司会 並木 正義
田島 芳雄
1. 胆管像からみた胆石症における閉塞性黄疸の病態と手術時期について
千葉大学医学部 第一内科 御園生 正紀
2. 閉塞性黄疸の手術適応と限界
長崎大学医学部 第二外科 前田 和義
3. 閉塞性黄疸の手術時期について
—閉塞性黄疸による機能障害の面よりの検討—
東京都養育院病院 外科 橋本 肇
4. 胆道系進行癌による閉塞性黄疸の手術適応について
順天堂大学 消化器外科 本山 博信
5. 閉塞性黄疸における閉塞解除時期についての検討
神戸大学医学部 第一外科 大柳 治正
- 指 定 発 言**
1. 閉塞性黄疸の臨床症状と手術適応
東京大学医学部 第二外科 市原 荘六
2. 外科側からみた閉塞性黄疸の手術適応とその時期について
千葉大学医学部 第一外科 笠井 妥陵
3. 急性胆嚢炎の手術時期と術式について
県西部浜松医療センター 外科 内村 正幸
4. 黄疸を伴う胆石症の手術適応と時期
東京大学医学部 第一外科 石川 宏
5. 悪性腫瘍による閉塞性黄疸の手術適応とその時期について
岐阜大学医学部 第一外科 後藤 明彦

C. 外科的治療の問題をめぐって

15:30~19:00

(司会 齊藤洋一
中山和道)

- | | | |
|------------------------------------------------------|---------------------|-------|
| 1. 閉塞性黄疸の手術 | 東京大学医学部 第二外科 | 島 文夫 |
| 2. 悪性閉塞性黄疸患者に対する外科的手術の方針 | 金沢大学医学部 第二外科 | 永川宅和 |
| 3. 肝外胆道悪性腫瘍に対する胆道再建について | 九州大学医学部 第一外科 | 久次武晴 |
| 4. Soupault 式肝内胆管外瘻術による黄疸軽減術について | 慶応義塾大学医学部 外科 | 都築俊治 |
| 5. 閉塞性黄疸に対する外科的治療 | 東京女子医科大学消化器病センター 外科 | 浜野恭一 |
| 6. 胆石術後にみられる胆管狭窄の症例について
—特に手術との関連において— | 千葉大学医学部 第二外科 | 岡村隆夫 |
| 指 定 発 言 | | |
| 1. 悪性閉塞性黄疸の手術方法とその問題点 | 久留米大学医学部 第二外科 | 中山和道 |
| 2. 高度な閉塞性黄疸に対する外科治療の問題点 | 新潟大学医学部 第一外科 | 吉田壺介 |
| 3. 閉塞性黄疸に対する姑息的外科療法の工夫 | 大阪市立大学医学部 第二外科 | 木下博明 |
| 4. 閉塞性黄疸を伴った胆道癌脾頭部癌
—とくに黄疸軽減手術法の検討— | 日本大学医学部 第三外科 | 西岡伸也 |
| 5. 閉塞性黄疸の外科的治療におけるPTCの応用 | 大阪大学医学部 第二外科 | 大島進 |
| 6. 閉塞性黄疸の治療
—経皮経肝胆管ドレナージの意義— | 千葉大学医学部 第一外科 | 小幡五郎 |
| 7. 良性胆道疾患による閉塞性黄疸の手術成績
—とくに術式の選択に関連して— | 東北大学医学部 第一外科 | 中村尚志 |
| 8. 塞閉性黄疸をめぐる諸問題
—とくに急性閉塞性化膿性胆管炎における外科的治療の問題をめぐって— | 弘前大学医学部 第二外科 | 小野慶一 |
| 9. 胆道癌の手術術式とその予後 | 北海道大学医学部 第一外科 | 玉置明 |
| 10. 胆道癌（膨大部癌を除く）切除例の検討 | 東京大学医学部 第一外科 | 野呂俊夫 |
| 11. 胆道系癌治療成績の検討 | 市立札幌病院 第一外科 | 長谷川正義 |

閉塞性黄疸における閉塞部位診断の
問題点：特に肝内閉塞に関して、

東京大学 第二外科

○二川俊二，市原莊六，
島 文夫，杉浦光雄

閉塞性黄疸の診断に関しては、近年、PTC、
Echogram, Hypotonic duodenography, Fiberscopy 等による
診断技術の、より一層の進歩により、より正
確な情報が得られるようになった。私共の教
室でも、閉塞性黄疸症例に対しては、ルーチン
にこれら諸検査を施行、閉塞のより正確な部
位診断を試みている。閉塞性黄疸例では、症
状が同一でも、閉塞部位により治療が全く異
なってくることがある為、閉塞部位の診断が
最も重要である。今回は、閉塞部位別に、各
種診断法の有用性及び特長について検討、合
わせて、これらの問題点をも検討した。閉塞
部位として、(1)乳頭部及び膵内胆管部、(2)膵
上縁より三管合流部、(3)左右肝管・総肝管、い
わゆる肝内閉塞、の3つの部位に大別して検討
した。(1)に対しては、生検が可能な Fiberscopy
が最もすぐれた診断法であり、Echogram, PTC,
Hypotonic duodenography でも有力な情報も得ること
が出来た。(2)に対しては PTC が最も有力な診断
方法であり、Echogram も補助診断法としては有用

第11回胆道疾患研究会

プログラム

日 時：昭和50年8月22日（金）16：00～20：00（シネ・クリニック）

昭和50年8月23日（土）9：00～17：00（シンポジウム、主題、一般演題）

会 場：九段会館

東京都千代田区九段南1-6-5

TEL 03 (261) 5521

世話人：東京女子医大 消化器病センター 羽生 富士夫

シネ・クリニック（8月22日 16時～20時 第二会場）

- | | | |
|--------------------------|--------------------|---------|
| I. 16：00 | 座 長 | 小 野 慶 一 |
| 1. 胆道系疾患の放射線診断 | 愛知県がんセンター病院 放射線診断部 | 木 戸 長一郎 |
| 2. 術前胆道鏡により観察した総胆管末端部の運動 | 平塚胃腸病院 | 後 町 浩 二 |
| 3. オッジ氏筋の機能 | 弘前大学 第二外科 | 小 野 慶 一 |
| II. 17：10 | 座 長 | 小 林 誠一郎 |
| 4. 新しい経皮的胆管ドレナージ法 | 日本大学 第三外科 | 西 岡 伸 也 |
| 5. 影像下直達法による経皮的胆管ドレナージ | 東京女子医科大学 消化器病センター | 高 田 忠 敬 |
| III. 17：40 | 座 長 | 浜 野 恭 一 |
| 6. 乳頭括約筋形成術 | 北海道大学 第一外科 | 関 口 定 美 |
| 7. 十二指腸乳頭形成術 | 東京大学 第二外科 | 島 文 夫 |
| 8. 胆膵後胆管結石症に対する再手術 | 東京女子医科大学 消化器病センター | 中 村 光 司 |
| IV. 19：00 | 座 長 | 岩 崎 洋 治 |
| 9. 胆道再建術—肝管十二指腸間空腸有茎移植術— | 東京女子医科大学 消化器病センター | 高 崎 健 |
| 10. 胆管癌の手術 | 弘前大学 第二外科 | 小 野 慶 一 |

第 13 回 胆道疾患研究会プログラム

- 日 時／昭和52年8月18日(木) 主題(I) 胆道精査法(その1)
13:00~18:25 主題(III) 興味ある胆道疾患
(その1), (その2)
- 昭和52年8月19日(金) 主題(I) 胆道精査法(その2)
9:00~17:00 主題(II) 十二指腸憩室と胆道疾患
主題(III) 興味ある胆道疾患
(その3), (その4)
(その5), (その6)

会 場／仙 台 市 民 会 館

仙台市桜ヶ岡公園4番1号 TEL 0222(62)4721

当 番
世話人

東北大学医学部第1外科 齋藤洋一

〒980 仙台市星陵町1-1 TEL 0222(74)1111 内2549

第15回胆道疾患研究会

日 時 昭和54年8月30日(木) 9:15~18:30

主題: 3)症例報告 (2)胆管膵管合流異常

主題: 1)胆道感染の病因, 病態および治療

昭和54年8月31日(金) 9:15~18:00

主題: 2)胆石再発の病因と治療

主題: 3)症例報告 (1)早期胆道癌 (胆嚢癌を含む)

会 場 長崎市公会堂

長崎市魚の町4-30 TEL0958-22-4145

胆道疾患研究会専用電話(期間中) 0958-26-1417

当 番
世話人

長崎大学医学部第二外科 土 屋 涼 一

〒852 長崎市坂本町7-1 TEL0958-47-2111 内2923

第23回

日本胆道学会総会

会長 小野 慶一

事務局 弘前大学医学部第2外科教室

〒036 弘前市在府5

Tel. 0172(33)5111 内線 2743, 2744

第 23 回日本胆道学会総会を開催するに当って

小 野 慶 一

このたび胆道疾患研究会はその 22 回におよぶ長い歴史を発展的に解消し、日本胆道学会として新しく発足することになった。その第 1 回総会にあたる第 23 回日本胆道学会総会を弘前の地で開催する機会を与えられ、無上の光栄と存ずる次第である。

胆道疾患研究会は若手研究者による忌憚のない討論会という特色を有していた。そしてその特色がまた多数の会員の魅力となって「愛される研究集会」として成長、一向に衰えるどころかますます充実し、遂に学会に脱皮するに至った。これは胆道に関する内科、外科両サイドのみならず放射線医学者、基礎学者と広範囲な領域の研究者からそれぞれ特色のある発言が行われるためと思われる。

DDWと共催

	開催日	世話人	所属	開催地	会場
第 29回	平成 5年9月20～22日	高田 忠敬	帝京大学医学部第1外科	神戸	神戸ポートアイランド
第 30回	平成 6年4月23～25日	梶山 梧朗	広島大学医学部第1内科	神戸	神戸ポートアイランド
第 31回	平成 7年 5月 9～12日	鈴木 範美	東北大学医療技術短期大学部	横浜	パシフィコ横浜
第 32回	平成 8年 4月18～20日	大井 至	東京女子医科大学第2病院	神戸	神戸ポートアイランド
第 33回	平成 9年 4月17～20日	谷村 弘	和歌山県立医科大学第2外科	名古屋	名古屋国際会議場
第 34回	平成 10年 4月15～18日	藤田 力也	昭和大学藤が丘病院消化器内科	横浜	パシフィコ横浜
第 35回	平成 11年10月28～31日	船曳 孝彦	藤田保健衛生大学船曳外科	広島	広島国際会議場
第 36回	平成 12年10月25～28日	税所 宏光	千葉大学医学部第1内科	神戸	神戸国際会議場他

第35回 日本胆道学会総会

会 長

船 曳 孝 彦

藤田保健衛生大学医学部外科

会 期

平成11年10月28日(木)～31日(日)

第 35 回日本胆道学会総会を迎えて

会長 船 曳 孝 彦

日本胆道学会は今年も平成 11 年 10 月 28 日～31 日に開催される DDW-Japan 1999 の一環として、第 35 回総会を 30 日、31 日の 2 日間広島市国際会議場、広島平和記念資料館にて開催致します。DDW-Japan も 7 回目となり、消化器疾患を専攻する医師のレベルアップに本学会もその一翼を担って参りますと共に、胆道学研究の最先端を歩んで参りました。

胆道学会としては、DDW の特性を考えての主題として、

「ss 胆嚢癌の診断と治療」(シンポジウム 12)

「肝内胆管の拡張はどのように起こるのか」(シンポジウム 13)

「胆石治療法からみた再発例」(シンポジウム 18)

「胆道癌リンパ節転移の診断と治療方針」(パネルディスカッション 9)

「膵・胆管合流異常における発癌機序」(パネルディスカッション 14)

「胆・膵の 3D 画像の進歩—virtual を含む」(ビデオワークショップ 4)

「胆汁の分泌から濃縮・排泄まで」(ワークショップ 7)

「胆道癌非切除例の治療法の選択」(ワークショップ 10) を企画しました。

また、他学会のご提案による

「消化器疾患の鏡視下手術—反省と展望」(シンポジウム 3)

「超音波診断で発見される胆・膵癌の実態」(シンポジウム 17)

「胆汁酸代謝研究の新しい展開」(パネルディスカッション 3)

「消化管と肝・胆・膵—臓器相関」(パネルディスカッション 11)

「内視鏡的拡張術の手技と成績—消化管・胆・膵」(ビデオワークショップ 2)

は、合同企画として参加しました。

講演日程表

第1日目

平成11年10月28日 (木)

	第3会場	第13会場	第14会場
	国際会議場 ダリア	アステールプラザ 大ホール	アステールプラザ 中ホール
9:00	9:10	9:10	9:10
10:00	パネル ディスカッション3 胆汁酸代謝研究の 新しい展開 (肝臓・消化器病・ 胆道) 司会 牧野 勲 足立 幸彦	ビデオ ワークショップ2 内視鏡的拡張術の手技 と成績—消化管・胆・膵 (消化器内視鏡・ 膵臓・胆道) 司会 池田 靖洋 松井 敏幸	シンポジウム 3 消化器疾患の 鏡視下手術 —反省と展望 (ヒアオ) (消化器外科・ 消化器内視鏡・ 大腸肛門病・ 胆道) 司会 比企 能樹 大橋 秀一
11:00		10:30	
12:00	11:50		12:00
13:00			
14:00			
15:00			
16:00			
17:00			
18:00			

第2日目

平成11年10月29日 (金)

	第2会場	第8会場	第14会場
	国際会議場 ヒマワリ	平和記念資料館 メモリアルホール	アステールプラザ 中ホール
			9:00
			シンポジウム 8 臨床応用可能な 分子生物学 (DDW-J) 司会 千葉 勉 北島 政樹
			12:00
		14:00	
		国際シンポジウム 2 黄疸と胆汁うっ滞 —その基礎と 臨床— (DDW-J) 司会 滝川 一 田妻 進	
	16:20		
	教育講演 (DDW-J) 内村 正幸 司会 藤田 力也		
	16:55	17:00	

講演日程表

第3日目

平成11年10月30日(土)

	第1会場	第3会場	第5会場	第8会場	第9会場	第15会場
	国際会議場 フェニックスホール	国際会議場 グリア	国際会議場 コスモス2	平和記念資料館 メモリアルホール	平和記念資料館 記念会議室	アステールプラザ 多目的ホール
9:00	ビデオ ワークショップ4 胆・膵の3D画像の 進歩 —virtualを含む (胆道・消化器内 視鏡・膵臓) 司会 打田日出夫 竜 崇正	シンポジウム 12 胆膵癌の診断と 治療 (胆道・ 消化器外科・ 消化器内視鏡) 司会 田代 征記 須山 正文	一般演題 合流異常1 座長 太田 哲生 9:32 合流異常2 座長 佐々木睦男 10:04 合流異常3 座長 安藤 久實 10:36 合流異常4 座長 松本 由期 11:08 先天異常 座長 木南 義男	シンポジウム 13 肝内胆管の拡張は どうして起こるのか (胆道・肝臓) 司会 大井 至 角田 司	一般演題 癌非切除1 座長 今泉 俊秀 9:32 癌非切除2 座長 高橋 伸 10:04 癌非切除3 座長 宮川 秀一 10:36 癌非切除4 座長 齋藤 博哉 11:00 病 理 座長 武藤 良弘	シンポジウム 17 超音波診断で発見 される胆・膵癌の 実態 (消化器集団検診・ 膵臓・胆道学会) 司会 小野 良樹 三原 修一
10:00						
11:00						
12:00	11:50	11:50	11:40	11:30	11:32	11:30
13:00	13:30					
14:00	会長講演 船良 孝彦 司会 羽生富士夫 14:10	14:10	14:10	14:20	14:20	14:00
15:00	招待講演1 L. W. Way 司会 二川 俊二 14:50 招待講演2 C. Sugawa 司会 池田 靖洋 15:30 特別講演 永川 宅和 司会 水本 龍二 16:10	シンポジウム 18 胆石治療法からみた 再発例 (胆道・ 消化器外科) 司会 山川 達郎 石原扶美武	一般演題 胆道癌1 座長 中尾 昭公 14:42 胆道癌2 座長 小山 研二 15:14 胆道癌3 座長 安田 秀喜	ワークショップ7 胆汁の分泌から 濃縮・排泄まで (胆道・肝臓) 司会 税所 宏光 吉田 奎介	一般演題 遺伝子 座長 跡見 裕 14:44 閉塞性黄疸 座長 齋藤 和好 15:08 硬化性胆管炎 座長 廣岡 芳樹 15:48 機能 座長 大内 清昭	パネル ディスカッション11 消化管と肝・胆・ 膵-臓器相関 (消化器病・ 肝臓・消化吸収・ 膵臓・胆道) 司会 伊藤 誠 木下 芳一
16:00			15:54	16:20	16:28	16:30
17:00		16:30	胆道学会 評議員会			
18:00						

講演日程表

第4日目

平成11年10月31日（日）

	第2会場	第4会場	第6会場	第8会場	第18会場
	国際会議場 ヒマワリ	国際会議場 ラン	国際会議場 コスモス1	平和記念資料館 メモリアルホール	総合体育館 大アリーナ
9:00	パネル ディスカッション9 胆道癌リンパ節 転移の診断と 治療方針 (胆道・消化器外科) 司会 尾形 佳郎 藤田 直孝	一般演題 ビデオセッション 座長 嶋田 紘 9:39 一般演題 プレナリーセッション1 座長 中島 正継 10:15 プレナリーセッション2 座長 高田 忠敬 10:51	一般演題 胆道良性1 座長 渡辺 五朗 9:32 胆道良性2 座長 土屋 幸浩 10:04 胆道良性3 座長 堀口 祐爾 10:36 胆道良性4 座長 関 秀一 11:08 胆道良性5 座長 宮崎 勝	パネル ディスカッション14 膵・胆管合流異常 における発癌機序 (胆道・膵臓) 司会 須田 耕一 平田 公一	
10:00					
11:00					
12:00	11:50		胆道学会総会 11:48	11:50	
13:00					デジタル ポスターセッション 胆道1 司会 田中 直見 山田 博康 14:00 胆道2 司会 小林 展章 土田 明
14:00	ワークショップ10 胆道癌非切除例の 治療法の選択 (胆道・ 消化器外科・ 消化器内視鏡) 司会 川原田嘉文 山雄 健次	一般演題 手術1 座長 炭山 嘉伸 14:32 手術2 座長 二村 雄次 15:04 その他 座長 井戸 健一 15:44	一般演題 診断1 座長 古川 敬芳 14:40 診断2 座長 真口 宏介 15:12 肝内結石 座長 田妻 進 15:44		14:40
15:00					
16:00	16:30 閉会式				
17:00					
18:00					

第40回日本胆道学会学術集会

会 長

田中 直見

筑波大学大学院人間総合科学研究科消化器内科

会 期

平成 16 年 9 月 24 日(金), 25 日(土)

特別企画1

平成 16 年 9 月 24 日(金) 第 1 会場 11:00~12:00

「日本胆道学会 40 年の歩みと今後の展望」

有山 襄 前理事長

二村 雄次 現理事長

司会 中山 和道 日本胆道学会名誉会員





講演

結石症の疫学、成因と

奥者 筑波大学大学院人間総合科学研究科消化器内科会
昭和大学藤か丘病院

日本胆道学会 50周年

おめでとうございます

大いなる発展を祈念します

中山 和道

2014.9.27